

平成 2 8 年度

事業報告書

社会福祉法人 流山市社会福祉協議会

平成28年度

社会福祉法人流山市社会福祉協議会事業報告

平成28年度は、社会福祉法人の制度改革を柱のひとつとした社会福祉法の改正を受け、定款を全面的に改正するなど、本会を取り巻く環境が大きく変わった年でした。

本会の活動指針である流山市地域福祉活動計画の最終年度であったことから、この計画の進捗状況を振り返り、一方で、策定委員会を組織し、地域懇談会などを経て第2次流山市地域福祉活動計画を策定しました。

児童福祉では、鰯ヶ崎小学校内に新たに建設されたひまわり第2学童クラブの指定管理者となり、児童増に対応しました。

障害者福祉では、これまで稼働していなかった土曜日や祝日にも身体障害者デイサービスセンターを開けることによって利用者の利便に供しました。

4月から障害者差別解消法が施行されたことを受け、文化会館で「バリアフリー演劇鑑賞会」を企画。耳や目のご不自由な方々にも高校演劇を楽しんでいただく公演を開催しました。

また、神奈川県相模原市の障害者施設での事件を受け、流山こまぎ園に防犯カメラを設置するなど利用者の安全を強化しました。

流山こまぎ園の利用者によるチャリティピアノリサイタルなど、被災地復興支援や共同募金啓発を目的としたチャリティコンサートを4回開催するなど、音楽と福祉とを結んだイベントを実施することによって、福祉への理解と協力を呼び掛けました。

4月に発生した熊本地震を機に、速報性を持った情報発信ができるようSNS（ツイッター）を開始するなど広報活動に力を注ぎました。

平成28年度は、熊本地震をはじめ全国各地でさまざまな大規模災害が起こったことを受け、ボランティアセンターでは、被災地に職員を派遣する一方、災害時を想定した災害ボランティアセンターについての研修や訓練を開催し、市民団体が主催する防災フェアに参加するなど積極的に活動を強化しました。

また、災害時には二次避難所（福祉避難所）に指定されている流山市デイサービスセンターについては、災害時を想定して窓に飛散防止フィルムを施しました。

さらに、初めての流山市社会福祉協議会活動強化計画を策定し、持続可能な団体を目指し現状の課題の把握とその解決策を探り、将来を見据えた本会のあり方をまとめました。

1 会 議

(1) 理事会

- ①平成28年5月13日 平成28年第2回
(平成27年度事業報告・決算の認定について 他)
- ②平成28年5月27日 平成28年第3回
(評議員の承認について 他)
- ③平成28年6月14日 平成28年第4回
(会長・副会長等の選任について、総合企画委員会委員、広報・高齢者対策委員会委員等の選任について)
- ④平成28年8月4日 平成28年第5回
(就業規則等の一部改正について)
- ⑤平成28年12月12日 平成28年第6回
(社会福祉事業区分・公益事業区分補正予算、定款の全面改正、評議員選任・解任委員会運営細則の制定等)
- ⑥平成29年3月8日 平成29年第1回
(平成28年度社会福祉事業区分及び公益事業区分補正予算について 平成29年度事業計画・予算について 他)

(2) 評議員会

- ①平成28年5月17日 平成28年第2回
(平成27年度事業報告・決算の認定について 他)
- ②平成28年6月7日 平成28年第3回
(理事・監事の選任について)
- ③平成28年12月12日 平成28年第4回
(社会福祉事業区分・公益事業区分補正予算、定款の全面改正、評議員選任・解任委員会運営細則の制定等)

平成 29 年第 1 回

(3) 監 査

平成 2 7 年度監査

平成28年度中間監査

平成28年度社会福祉法人指導監査(流山市)

(4) 委員会・協力員会議

(平成29年度事業計画・予算について 他)

平成28年5月27日、9月1日、平成29年3月1日

・ 児童・障害者対策委員会 平成28年10月6日

・協力員会議（第1回）

出席者 29 人

出席者 21 人

出席者 28 人

出席者 3 4 人

＜会議事項＞

- 1) 流山市社会福祉協議会の事業概要について
- 2) 社会福祉協議会会費等の依頼時期について
- 3) その他

・協力員会議（第2回）

出席者 90 人

＜会議事項＞ １）歳末たすけあい募金運動の依頼について
２）研修 千葉県共同募金会による
「共同募金の意義と仕組み」

平成 28 年 11 月 28 日

平成 29 年 3 月 17 日

- ・心配ごと相談所運営会議 平成28年
5月27日、7月29日、10月28日、
12月9日
平成29年2月24日

2 普及・宣伝事業

- ・広報紙「ながれやま福祉だより」の発行
年4回（6・9・1・3月）
（1回あたり55,600部、新聞折り込みにより全世帯配布）
- ・ホームページ「nagareyamashakyo.com」の運営
- ・パンフレットの発行 7,000部
（世帯回覧のほか、公共施設の窓口等で配布。）
- ・その他
福祉の啓発として（11月）に市内公共施設等にポスターの掲示を行い、市民の皆様に福祉への理解と福祉活動への積極的な参加を促すための普及宣伝活動を行った。

3 地域ぐるみ福祉推進事業

誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、小・中学校の協力を得て啓発用のポスターを作成し、市内公共施設や自治会掲示板に掲示して頂き啓発活動を行うとともに、地区社会福祉協議会活動を支援し、地域ぐるみ福祉活動の推進に努めた。

また、平成27年4月に開校したおおたかの森小学校区内の自治会、民生委員・児童委員、小中学校、PTAの方々と協議を進めていた「おおたかの森小学校区地区社会福祉協議会」が平成28年5月10日に市内16番目の地区社会福祉協議会として誕生した。

なお、流山市地域福祉活動計画の最終年度にあたり、第2次流山市地域福祉活動計画の策定に取り組んだ。

（1）地域ぐるみ福祉事業の推進

市民まつり（福祉会場）・市内全域において、啓発活動等を実施し、福祉意識の高揚に努めた。

開催年月日	内 容
10月6日	○児童・障害者対策委員会（地域ぐるみ福祉のまちづくり推進

	ポスター及び推進標語の審査) 応募数 ポスター 小学生 29点 中学生 19点 標 語 小学生 46点 中学生 27点
10月30日	○市民まつり（福祉会場）における啓発活動
11月1日～ 12月末	○地域ぐるみ福祉のまちづくり推進ポスター及び推進標語最優秀賞ポスターを市内公共施設・自治会掲示板に掲示し、福祉の啓発活動を行った。

（２）第２次流山市地域福祉活動計画策定

流山市社会福祉協議会では、平成２５年度から平成２８年度を第１次とした地域福祉活動計画を策定し、この計画に基づき本会の地域福祉活動を推進した。この計画の最終年度にあたる平成２８年度に第１次計画の評価を踏まえ新たな街づくりを形成する中、開発が進む地域におけるコミュニティづくりや、更に複雑多様化する地域福祉課題への取り組みに加え、頻発する自然災害に対する地域での取り組みも重要な課題になっている。

こうした地域課題を踏まえ、第２次流山市地域福祉活動計画を策定した。

策定には、第２次地域福祉活動計画策定委員会を設置し、地域ニーズを把握するため、市内４地域包括支援センター圏域において地域懇談会を開催し、策定した。

第２次流山市地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

開催状況（期日）		議 題
第１回 策定委員会	平成２８年 ５月１２日	○委嘱状の交付 ○委員長・副委員長の選出 〈議 題〉 （１）第２次活動計画策定方針について （２）第２次活動計画策定のスケジュール
第２回 策定委員会	平成２８年 ８月２６日	〈議 題〉 （１）前活動計画の評価について （２）地域福祉活動計画について ・進捗状況について（骨子・素案）
第３回 策定委員会	平成２８年 １１月１日	〈議 題〉 （１）地域福祉活動計画骨子について （グループワーク）

第４回 策定委員会	平成２９年 １月２０日	〈議 題〉 (１) 地域福祉活動計画素案について
第５回 策定委員会	平成２９年 ３月１３日	〈議 題〉 (１) 地域福祉活動計画素案について

作業部会の開催状況

開催状況（期日）		議 題
第１回 作業部会	平成２８年 ６月２７日	〈議 題〉 (１) 部会長・副部会長の選出 (２) 第２次活動計画策定方針について (３) 第２次活動計画策定のスケジュール
第２回 作業部会	平成２８年 ７月２６日	〈議 題〉 (１) 前活動計画の評価について (２) 各係の進捗状況について
第３回 作業部会	平成２８年 ８月２４日	〈議 題〉 (１) 前計画の事業評価について (２) 第２次計画の進捗状況について
第４回 作業部会	平成２８年 １０月１１日	〈議 題〉 (１) 前計画の事業最終評価について (２) 第２次計画の骨子案について
第５回 作業部会	平成２８年 １１月１４日	〈議 題〉 (１) 第２次流山市地域福祉活動計画素案について
第６回 作業部会	平成２９年 ３月６日	〈議 題〉 (１) 第２次流山市地域福祉活動計画素案について

地域懇談会等の開催状況

開 催 日	開催場所（午前・午後）	内 容
平成２８年７月２１日	初石公民館・ 西深井福祉会館	地域課題・地域資源の掘り起こし
平成２８年７月２２日	中央公民館・ 東部公民館	地域課題・地域資源の掘り起こし
平成２９年２月２０日	森の倶楽部・ おおたかの森センター	第２次流山市地域福祉活動計画の概要 説明

平成29年2月21日	流山市ケアセンター・ 東部公民館	第2次流山市地域福祉活動計画の概要 説明
------------	---------------------	-------------------------

(3) 夏休みビデオ上映会

流山市・流山警察署との共催で、市内の学童クラブを会場に夏休み期間中の事故や犯罪の防止を図るとともに、児童福祉への啓発を図ることを目的に、ビデオ上映会とパトカーの乗車体験を実施した。

期 日	開 催 場 所	参加児童数
8月1日	あすなろ学童クラブ	57人
8月3日	そよかぜ学童クラブ	13人
8月17日	ひよどり学童クラブ	27人
8月18日	たけの子ルーム	32人
8月24日	おおたかの森ルーム	81人
8月29日	ひまわり学童クラブ	61人
参 加 者 合 計		271人

(4) ボランティア活動の推進

各種ボランティア講座及び学生ボランティアによる小中学生を対象とした学習教室の開催や、市民への情報の提供、器材の貸し出し等を行い、ボランティアの育成と活動支援に努めるとともに、ボランティア・グループ、ボランティア関係団体との連絡調整を密にし、ボランティア活動の普及と推進に努めた。

①ボランティア養成講座等の開催

講座名等	開催月日	内 容	参加人員
ボランティア フォローアップ講座	6月16日	講義 ・変わる老人ホーム ～さまざまな高齢者施設を知る～ 講師 東葛年金サポート 中崎 亮 氏 今津 堅 氏 ・自分のコミュニケーションを振り返る ～ゲームやロールプレイを通して、自分の	27人

		コミュニケーションの傾向に気付く～ 講師 江戸川大学総合福祉専門学校 越智 久恵 氏	
ボランティア入門講座	7月28日	講義・体験学習 ・ボランティアの楽しさと喜び ～地域での絆を創る～ 講師 江戸川大学総合福祉専門学校 紫原 麻未 氏 ・アイマスク・白杖体験、車イス試乗・介助体験 講師 江戸川大学総合福祉専門学校 直江 美樹 氏 座談会 ・ボランティア活動を長く継続するために ～ボランティア活動者の事例を踏まえて～ ボランティア活動事例発表者 個人ボランティア・登録グループより4名	6人
災害ボランティア入門講座	9月23日	講義 「第1部 自分が被災した場合」 ・災害支援の一般知識・緊急時の対応・被災者同士の配慮 「第2部 支援する場合」 ・ボランティアとしての心構え、被災者への配慮 「第3部 日常からできること」 ・個人でできる災害への備え・地域活動を活かす方法・自分でできるボランティア活動 講師 災害救援ボランティア推進委員会 事務局長代行 天寺 純香 氏	21人

災害ボランティア リーダー養成講座	10月14日	講義 ・流山市に想定される災害について 講師 流山市市民生活部防災危機管理課 課長 鶴巻 浩二 氏 ・流山市災害ボランティアセンターについて 説明 流山市ボランティアセンター事務局 講義・演習 ・災害シミュレーション～クロスロードゲームを通して学ぶ～ 講師 災害救援ボランティア推進委員会 事務局長代行 天寺 純香 氏 演習 ・応急救護について～AED の使用方法、三角巾と応用手当～ 講師 日本赤十字社千葉県支部流山市地区奉仕団 山梨 美代子 氏 高橋 静代 氏 阿部 春代 氏 埋金 玲子 氏 一尾 孝子 氏	18人
災害ボランティアセンター スタッフ養成講座	12月7日	講義 ・災害ボランティアセンタースタッフの役割と各係の働きについて 演習 ・災害ボランティアの受付～活動報告までの流れを演習を通して学ぶ 講師 災害救援ボランティア推進委員会 事務局長代行 天寺 純香 氏	21人
小中学生学習教室 (夏季・冬季・春季)	8月25日 8月26日 12月26日 3月27日 3月28日	小中学生を対象に、ボランティアによる学習教室を開催 ・児童・生徒の宿題等の学習の個別指導 ・身近な話題を取り上げた集団授業 運営・指導 大学生ボランティアグループ”ee”	計18人

②登録ボランティアの活動状況

- ・年間総活動人数（延べ）

17,611人

- ・ボランティアセンターの要請に基づく活動人数4,762人

※施設ボランティア（27施設）含む

		高齢者	身体 障害者	知的・精神 障害者	児童	その他	合 計
個 人	延べ人数	1,608	467	481	2	11	2,569
グループ	回 数	316	5	7	48	31	407
	延べ人数	1,385	26	21	139	215	1,786
合 計		3,309	498	509	189	257	4,762

登録ボランティア人数

- ・個人748人（新規登録24名 辞退4名）
- ・グループ数1,304人（68グループ） 計2,052人

③行事への参加

各種行事に参加し、ボランティアグループによる車いす体験や災害時弱者体験等を行った。

- ・10月30日 第38回流山市民まつり
(流山セントラルパーク 駅東口福祉会場)
- ・11月12日 バリアフリー演劇鑑賞会(流山市文化会館)
- ・12月3日 おおたかの森防災フェア2016
(流山おおたかの森駅南口広場)

④器材の貸出状況

品 名	貸出回数	品 名	貸出回数
ワイヤレスマイクセット・ライト	162	カラオケ	6
図書・ビデオ	0	かき氷機	13
高齢者疑似体験セット	19	アイマスク・点字器・白杖	7
プロジェクター	26	その他（スクリーン等）	19
		合 計	252

(5) 介護支援サポーター事業の推進

流山市より介護支援サポーター事業を受託し、高齢者の社会参加活動を通じた介護予防の推進と地域貢献を支援するため、介護支援サポーター事業の説明会や介護支援サポーター養成講座、フォローアップ講座、サポーター受入機関見学会等を開催し、サポーター活動の普及と推進に努めた。

① 介護支援サポーター事業説明会

	開催年月日	内 容	参加者数
1	平成 28 年 4 月 6 日	○介護支援サポーター事業の概要について ○サポーター活動開始までの流れについて ○活動実績スタンプの活用について等	6 人
2	5 月 6 日		9 人
3	6 月 7 日		8 人
4	7 月 6 日		7 人
5	平成 29 年 3 月 21 日		3 人
6	3 月 23 日		3 人
7	3 月 27 日		6 人
8	3 月 28 日		2 人
9	3 月 29 日		2 人
合 計			4 6 人

※ 会場は流山市ケアセンター、市内公民館等で実施

② 介護支援サポーター養成講座

	開催年月日	内 容	講師ほか	参加人員
1	4 月 26 日	○説明 「介護支援サポーター事業について」 ・制度概要について	流山市 ボランティアセンター	22 人

2	5月20日	・講座～登録～活動までの流れについて ○講義・実習 「介護支援サポーター活動での心がけ」	江戸川大学 総合福祉 専門学校	5人
3	6月21日	・サポーター活動の心構え ・利用者との接し方 ～コミュニケーション・傾聴について～ ～車いす試乗・介助体験～		9人
4	7月22日	○講義 「活動先となる介護保険施設等の理解」 ～介護保険制度の理解について～		26人
5	9月6日	○講義 「要介護認定者の心と体を理解する」 ～高齢者特有の傷病について～	流山市 介護支援課	15人
6	9月27日	○講義 「認知症への理解と対応について」 ～認知症サポーター養成講座～	流山市 地域包括 支援センター	15人
合 計 (登録者数)				92人

※ 会場は流山市ケアセンター、市内公民館等で実施

③介護支援サポーターフォローアップ講座

開催年月日	内容	講師	参加人員
10月6日	○講義 ・傾聴とは相手に寄り添い、耳を傾けて 気持ちを聞くこと ・話す人が求めていること (バイステックの7原則)	NPO 法人 P.L.A (パートナーシップ アンドリスニング アソシエーション)	41人
10月20日	○実習 シナリオによるロールプレイ		28人
11月2日	「聴かない会話」と「聴いている会話」		20人
11月16日	○講義 聴くときの具体的な注意点 (日常会話との違い)		31人

	○実習 三人組ロールプレイ 「話す人、聴く人を体験する」		
合 計			120人

※会場は北部公民館、南流山センター、東部公民館、初石公民館で実施

④介護支援サポーター活動状況

登 録 者	568人
活動人数	254人
延参加人数	8,002人

※受入施設数 69施設

(6)ひとり暮らし高齢者日帰り交流会

平成29年3月21日、成田市（成田山新勝寺）へひとり暮らしの高齢者202人を招待した。

(7) 善意受入・払出状況

市民からの善意（物品等）の提供を受け、希望する市民に払出した。

品 名	受入件数	払出件数
介護用品	19	12
日用品	19	21
その他	16	22
合 計	54	55

4 福祉資金の貸付事業

低所得世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談援助により、経済的自立と生活意欲の助長をはかり、安定した生活が送れるよう、生活福祉資金（福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・総合支援資金・緊急小口資金・臨時特例つなぎ資金）及び愛の資金（小口貸付資金）の貸付相談及び支援、償還指導に努めた。

特に、生活困窮者（世帯）等に対しては、平成27年4月より施行された生活困窮者自立支援事業と連携し、流山市及び流山市くらしサポートセンターユースネット（生活困窮者自立支援事業自立相談機関）、公共職業安定所等と連携した対応を行い、自立支援相談機関の作成する自立支援計画に基づき貸付申請につなぎ、貸付の実施後においても、自立相談支援機関とともに、当該世帯への見守り及び償還指導を行い、生活の安定が図れるように努めた。

◆相談内容・件数(平成28年度)

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生活費	206	転居費	11	障害者自動車購入	6
失 業	20	自己破産・倒産	6	福祉用具購入	0
就学・修学費	133	住宅改修	1	その他	20
医療・介護費	16	冠婚葬祭費	11	償還相談	79
不動産担保型生活資金	13	事業資金	2	合計	524
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	0	出産費	0		

◆貸付状況(平成28年度貸付件数)

生活福祉資金(千葉県社会福祉協議会委託事業)

資金名	申請件数(申請額)	決定件数(決定額)	備考
福祉資金	0件(0円)	0件(0円)	
教育福祉資金	4件(6,982,600円)	4件(6,982,600円)	内訳: 大学(2)、高校(2)
総合支援資金*	1件(338,460円)	0件(0円)	不承認1件
緊急小口資金*	2件(180,000円)	2件(180,000円)	
臨時特例 つなぎ資金*	1件(82,000円)	1件(82,000円)	
合計	8件(7,583,060円)	6件(7,244,600円)	
不動産担保型 生活資金	0件	1件(6,405,000円)	※27年度進達案件が 28年度に決定した。

*印は生活困窮者自立支援事業との連携対応を要する貸付資金

愛の資金(本会独自事業・小口貸付資金)

貸付件数	73件	貸付金額	1,303,430円
------	-----	------	------------

5 相談事業

(1) 心配ごと相談所の開設

流山市ケアセンターにおいて、心配ごと相談所を毎週水曜日(午後1時から3時30分まで)に開設し、市民の心配ごと・悩みごとの相談に民生委員・児童委員(16人)が2人体制で応じ、その解消に努めた。

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	4	財産	3

年金	1	事故	0
職業・生業	3	児童福祉・母子保健	0
住宅	2	教育・青少年	0
家族	1 2	障害者福祉	0
結婚	0	母子福祉・父子福祉	0
離婚	4	高齢者福祉	1
健康・保健・衛生	2	苦情	2
医療	5	その他	1 0
人権・法律	1	合 計	5 0

(2) 成年後見相談所の開設

成年後見に関する相談所を開設し、高齢や障害などによって判断能力に不安がある方を法的に支援する制度についての疑問や利用法等の相談に応じた。

相談日：平成28年8月30日、10月25日、12月27日

平成29年2月28日（4回）

相談者数： 5人

6 援護事業

低所得者（要保護世帯）、交通遺児世帯等が明るいお正月を迎えられるように、民生委員・児童委員の協力を得て年末に援護金等を届けるとともに、障害者支援施設利用者、福祉施設入所者等へも支援金を届け支援した。

(1) 歳末たすけあい募金の配分

区 分	世帯数等	人員	金額（千円）
要保護世帯	32世帯	67	1,385
生活困窮者自立支援機関	1カ所		100
市給食サービス利用者（おせち料理）		87	179
養護老人ホーム入所者		2	40
障害福祉サービス事業所等	32事業所		1,020
障害者生活ホーム	5事業所		250
児童養護入所児童・乳児院入所児		20	400
交通遺児		2	40
ひとり暮らし高齢者日帰り交流事業			500
福祉だより172号発行費(共同募金特集号)			100

配分経費			23
合 計			4,037

(2) 災害見舞金

区 分	件数	金額(円)
火災	0	0
死亡・重傷	0	0
床上浸水	0	0
合 計	0	0

(3) 法外援護

件数	金額(円)
5	2,500

7 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でないため、財産管理や福祉サービスの利用手続きが独力では難しい高齢者や障害者等に対して、日常生活自立支援事業の利用に関する相談、訪問調査、県契約締結審査会へ審査依頼、契約、実際の支援活動を実施した。

また、流山市社協パンフレットやホームページ、「ながれやま福祉だより」に事業内容を掲載したほか、宮園自治会高齢者サポート委員会において事業説明を行い、普及啓発に努めた。

さらに、市内の関係機関（行政・地域包括支援センター・民生委員等）や、千葉県後見支援センターの協力により、関係機関連絡会議を設置し、高齢者・障害者の権利擁護に係る機関の相互連携及び本事業の円滑な推進を図るための協議を行った。

・相談人数 23人（実人数）

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
18	1	3	1	23

内容：日常的な金銭の管理等に関する相談 19件
 事業への問い合わせ 3件
 成年後見制度に関すること 1件

・相談・訪問調査等（相談継続ケース）

相談・訪問調査等延べ回数

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計	うち訪問調査件数
95	2	10	5	112	15

・利用者数 11人（年度当初7人利用 新規契約4人 終了3人）

・支援回数・時間（利用者11人の延べ支援回数・時間）

支援回数：108回

支援時間：151.5時間

・支援内容

①福祉サービス利用援助（福祉サービス利用手続きの援助）	11人
②財産管理サービス（預貯金の引出しや公共料金等の支払等の援助）	11人
③財産保全サービス（通帳・実印・不動産権利証等の貸金庫での保管）	1人

・生活支援員（利用者宅を定期訪問して上記①・②の支援を行う）

現任者：9人（うち28年度新任0人）

登録者：3人（うち28年度新規登録2人）

退任者：0人

・関係機関連絡会議

日時：平成29年2月24日

内容：「日常生活自立支援事業及び関係機関連絡会議の主旨について」ほか

8 通所介護事業（高齢者デイサービス）

要支援・総合事業対象及び要介護者を送迎し、介護保険法のケアプランに沿ったサービスの提供を行い、生活意欲の向上や社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上と併せ、介護者の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。

今年度は認知症ケアの確立のために4名の職員が認知症実践者研修を受講し、また、地域包括ケアシステムの構築と医療、介護連携構築のための会議、講義に積極的に参加し、職員のより専門的なスキル向上に努めた。

（1）サービスの種類・内容

①日常動作訓練 音楽・創作的活動・レクリエーション・屋外活動等

②健康指導 検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導

③生活指導・相談 日常生活上の訓練、指導、相談

④給食サービス 栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を考慮した食事の提供

⑤入浴サービス 一般浴・リフト浴を用意し、安全かつ快適な入浴の提供

⑥機能訓練 機能訓練指導員による心身等の状況に応じた機能の維持・向上訓練

(2) 利用状況

開所日数		309日
利用延人員		5,083人
内 訳	総合事業	687人
	要介護1	1,374人
	要介護2	1,464人
	要介護3	763人
	要介護4	618人
	要介護5	177人
入浴サービス利用者延人員		3,140人
給食サービス利用者延人員		5,081人
送迎サービス利用者延人員		10,102人

9 身体障害者デイサービス事業

流山市からの受託事業として、在宅の身体障害者を専用車両で送迎し、各種サービスの提供、専門講師によるリハビリ（松戸整形外科より理学療法士、作業療法士を派遣）、音楽療法、木彫り、書道、七宝焼、絵画などを通じ、心身機能の維持・向上、家庭内自立や職場復帰を目指す方の自立と、社会参加を促進し、併せて家族の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。

なお、利用者に満足していただけるようデイサービスセンターの廊下に「目安箱」を設置し、広く利用者等から意見を求め、デイサービスの運営の改善に努めた。

また利用者や介護者にデイサービスでの利用者の様子や行事などを紹介し、デイサービス事業への理解と関心を深めていただけるように、3ヵ月毎に施設だより「フレンズ」を発行した。

(1) サービスの種類・内容

- ①機能訓練 理学療法・作業療法・音楽療法
- ②創作的活動 木彫り・書道・七宝焼き・作品作り等
- ③社会適応訓練 調理実習・パソコン・屋外活動等
- ④健康指導 検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導

- ⑤更生相談 福祉、日常生活等の各種相談
- ⑥給食サービス 栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を考慮した食事の提供
- ⑦入浴サービス 一般浴・リフト浴

(2) 利用状況

開所日数		304日
利用延人員		3,416人
内訳	区分1(軽度)	1,876人
	区分2(中度)	1,266人
	区分3(重度)	274人
入浴サービス利用者延人員		1,439人
給食サービス利用者延人員		3,280人
送迎サービス利用者延人員		6,627人

10 高齢者訪問介護事業

日常生活に支障のある要支援及び要介護高齢者に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護や日常生活の支援に努めた。

また、より良い支援が行なえるように、月1回以上定期的に、職員研修会を実施し、介護技術の向上や必要な知識の習得に努めた。

◆訪問介護員派遣状況 () 内は総合事業 ※全体数に含む

利用者数〔人〕	659	(94)	人
身体介護〔時間〕	2,585	(0)	時間
生活援助〔時間〕	2,823	(466)	時間
訪問時間数総計〔時間〕	5,408	(466)	時間
訪問回数総計〔回数〕	6,118	(497)	回

◆訪問介護員研修実施状況 事業所主催研修 年間 45回

定例会のほか、介護実習、新人研修等を開催するとともに、個別指導を随時実施し、職員の介護技術の向上等資質の向上に努めた。

◆ターミナル(看取り)ケア実施状況 年間 4ケース

◎ママ＆ベビーヘルプ事業

産褥期の親子に対して訪問介護員を派遣し、自宅における沐浴、オムツ交換、授乳等の援助や生活支援に努めた。

利用者数〔人〕	3	人
訪問時間数総計〔時間〕	21.5	時間
訪問回数総計〔回数〕	28	回

◎生活支援サービス事業

当事業所利用中の方で、給付対象外のサービスを必要としている利用者に対して必要な支援を行い、日常生活の支援に努めた。

利用者数〔人〕	66	人
訪問時間数総計〔時間〕	406.5	時間
訪問回数総計〔回数〕	333	回

11 障害者等訪問介護事業

日常生活に支障のある身体・知的・精神障害者(児)等に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護、日常生活の支援及び外出のための支援に努めた。

◆訪問介護員派遣状況

利用者数〔人〕	165	人
身体介護〔時間〕	1,705.5	時間
生活援助〔時間〕	494	時間
重度訪問〔時間〕	1,241	時間
同行援護〔時間〕	149	時間
移動支援〔時間〕		
(身体介護を伴う)	34	時間
(身体を伴わない)	53	時間
訪問時間数総計〔時間〕	3,676.5	時間
訪問回数総計〔回数〕	4,221	回

◆吸引等特定行為実施状況

人工呼吸器装着の重度の利用者 2 名に対して、痰の吸引や胃瘻による注入等の特定行為を実施した。 年間延訪問日数 4 5 6 日

12 居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者が適切な保健、医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に受けられるよう配慮し、関係市町村、地域の保健・医療サービス及び福祉サービス事業者等と連携を図りつつ、総合的なケアマネジメントに努めた。

(1) 居宅介護支援延実施件数

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
8 0 3	6 1 6	3 1 1	1 9 4	2 0 1	2, 1 2 5

(2) 介護予防居宅介護支援延実績件数

要支援 1	要支援 2	総合事業	合 計
1 2	5 8	1 9 5	2 6 5

13 介護認定訪問調査業務

流山市から介護認定訪問調査業務を受託し、介護保険法に基づく要介護認定申請者に対して、関係法令を遵守し、公正中立な立場で調査業務を実施した。

介護認定訪問調査実施件数（年間） 1, 4 7 1 件

14 流山市南部地域包括支援センター業務

(1) 総合相談支援業務

担当地域に住む高齢者に関する様々な相談をすべて受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて継続支援している。

相談内容別件数

	介 護 ・ 日常生活	サービスの 利用	医療	所 得 ・ 家庭生活	苦情	虐 待 等 権利擁護	成年後見	介護予防 プラン	合 計
実数	1,256	253	90	64	0	25	38	323	2,049
延件数	3,018	929	370	255	0	239	169	866	5,846

地域別相談件数

	市野谷	三輪野山	加	平和台	流山	西平井	鱈ヶ崎	南流山	木	他地域	合 計
実数	72	130	261	312	248	152	345	423	35	71	2,049
延件数	134	302	791	947	878	383	1,026	1,174	69	142	5,846

- ・ 地域連携推進会議開催 4 回

テーマ「地域の顔の見える関係づくり」

南部地域の各自治会にアンケートを実施し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会等の見守り活動やパトロールについて意見交換を行った。さらに地域の相談窓口として地域包括支援センターの役割について話し合った。

(2) 権利擁護業務

高齢者の適切な権利行使の為の支援、権利侵害からの救済及び侵害防止のための支援を行った。地域支援事業として周知活動を実施。

- ・ 日常生活自立支援事業の活用件数 0 件

- ・ 成年後見制度相談件数 25 件

法定後見 (後見 0 件、保佐 3 件、補助 1 件)

申し立て準備中 6 件、情報提供 8 件、その他 1 件、相談中 6 件

- ・ 虐待件数 実数 6 件 (再発 1 件)

- ・ 消費者被害件数 0 件

- ・ 認知症等家族のつどい 6 回

- ・ 認知症サポーター養成講座 11 回 (1, 338 人)

自治会 (1)、高校 (1)、介護支援サポーター (2)、小学校 (1)、中学校 (1)、学童クラブ (2)、介護事業所 (1)、ケアセンター (2)

- ・ 認知症サポーターフォローアップ教室 3 回 (60 人)

(3) 介護予防ケアマネジメント業務

介護保険の基本理念に基づき「自立支援」を旨とし、生活上のさまざまな課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行うことにより、要支援・要介護の予防やその重症化の予防、改善を図り、早い段階から高齢者ができる限り自立した生活を送れるように支援した。

介護保険認定者区分別者数(実数)

	更新	新規	区分変更	引継ぎ	合計
要支援	98	130	6	1	235
要介護	19		55		74
非該当	5	10			15
合計	122	140	61	1	324

介護予防・ケアマネジメント実績数(延数)

包括	656
委託	1,585
合計	2,241

- ・ O B 希望者にフォローアップとして「こつこつ貯筋教室」を（火・木曜日）月 1 回ずつ年間 4 4 6 人参加した。

（４）介護予防の普及・啓発

- ・ さわやかクラブ（６）、ふれあいの家（２）、自治会（５）、地区社会福祉協議会（４）に出前講座を定期化し、実施した。

（転倒予防、健康体操、消費者被害防止、認知症予防、口腔体操、介護保険講座等）

上記の他、自治会、さわやかクラブ、地区社会福祉協議会等、単発で出前講座を実施した。

年間 1 2 5 回 参加数 4 , 0 3 1 人

（５）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・ 介護支援専門員支援 7 5 9 件
（虐待、成年後見、所得、認知症、精神障害等の困難ケース）
- ・ 民生委員相談支援 1 8 2 件
- ・ 南部地域ケアマネ交流会 5 回
（医療関係者、サービス事業者、民生委員等） 1 5 7 人

（６）その他

- ・ ホームページの更新、チラシ等の配布により地域への P R を継続して行った。
- ・ 資源マップ

小学校区地域ごとに取りまとめ、介護、介護予防等の地域の情報を整理し、随時更新した。

15 指定障害者福祉サービス事業所（就労継続支援 B 型）流山こまぎ園事業

障害のある人の働く場として、生産活動や社会参加活動等の機会を提供し、就労のための知識・能力向上のため必要な訓練を行った。

開設 9 年目の年度当初は、利用者 1 4 人で年度途中に 1 人の入所者があった。買物かご洗浄の受託事業は順調に推移しており、利用者工賃を平均月額

28,141円支給し、春から秋にかけては菜園活動（畑作業）を実施するなど活動内容の一層の充実に努めた。

さらに、社会福祉協議会が設置運営する事業所であるとの特性を踏まえ、障害の有無にかかわらず相互に尊重し合える共生できる地域社会づくりに向けて、八木北地区社会福祉協議会との連携・協働による共催事業の実施や収穫した野菜の販売、芋ほり交流会などをとおして、地域交流を促進した。

このように、当事業所の効果的な運営を確保するとともに、利用者の自立支援と社会参加の促進を図り、就労継続支援事業の推進に努めた。

（１）業務内容

- ①生産活動 … 買物かごの洗浄作業
- ②文化教養活動 … 年忘れお楽しみ会、和太鼓、日帰り旅行ほか
- ③健康指導 … 健康診断の実施、インフルエンザワクチン接種料の助成

（２）利用状況（平成29年3月31日現在）

- ①年間開所日数 241日
- ②利用実人員 15人
- ③利用延べ人数 3,282人

（３）作業実績

- 買物かご洗浄個数 1,093,485個
- 1日当たり平均洗浄個数 4,537個

16 放課後健全育成事業（あすなろ学童クラブ・ひまわり学童クラブ）

平成24年度より、指定管理者としてあすなろ学童クラブ・ひまわり学童クラブの2クラブを管理・経営してきたが、平成28年度より鰯ヶ崎小学校校区の利用児童数の増加に伴い、流山市が新たにひまわり第2学童クラブを開設し、その学童クラブの管理・経営も行った。学童クラブでは、保護者が就労等で放課後の家庭保育が困難な概ね10歳未満の南流山小学校及び鰯ヶ崎小学校に通学する児童を、保護者が終業後迎えに来るまでの間、学童クラブで保育し、楽しく集団生活を送ることで、保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう努めた。

（１）内容

- ① 日常保育 おやつ・室内・外遊び(集団・自由)・宿題・読書 等
- ② 行事 誕生会(毎月)・お楽しみ会・昼食会・遠足 等
- ③ 親子行事（父母会と共催） 夏季・冬季に1回ずつ開催

(2) 開設・利用状況(延べ)

		あすなろ学童クラブ	ひまわり第1学童クラブ	ひまわり第2学童クラブ
開設日数(日)		272日	270日	270日
開設時間(時間)		2,040時間	2,117時間	2,085時間
児童数(月延べ/平均)		1,021人/85.1人	561人/46.8人	478人/39.9人
内 訳	1年生	439人/36.6人	—	478人/39.9人
	2年生	364人/30.3人	321人/26.8人	—
	3年生	218人/18.2人	240人/20人	—

保育時間： 平日 授業終了後 ～ 午後9時
 土・夏休み等 午前7時30分 ～ 午後9時

17 その他の事業

(1) 車椅子の貸出し

主に高齢者や障害者に車椅子を貸し出し、日常生活の支援に努めた。

車椅子 300件 延べ376台(所有台数90台)

(2) ケアセンター及び福祉会館の管理・運営

流山市ケアセンター及び流山福祉会館の管理・運営を指定管理者として受託し、市民の福祉の増進に努めた。

18 福祉サービスに係る苦情受付及び苦情解決状況

特段の苦情申出はなかった。